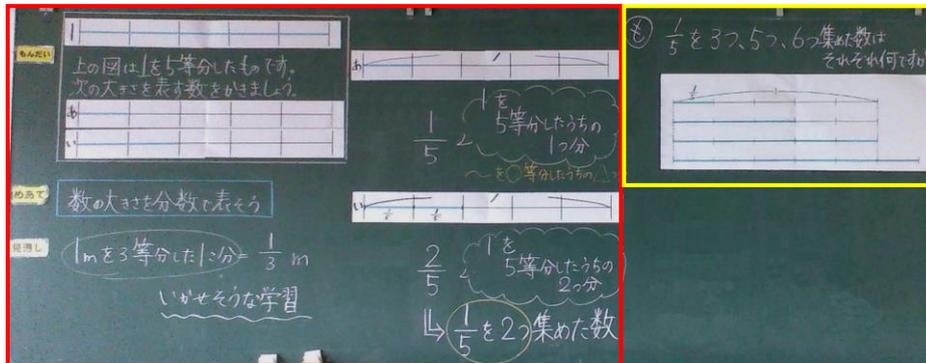


#### 4 児童の「できた!」「分かった!」の質を高める学習過程の一場面 (4/8時)

##### 教師と児童のやり取りの詳細

学び合う段階において、数として分数で表したことについて、線分図を用いながら考えさせたり説明させたりしながら、分数と1との関係を捉えさせていく場面。

※1つ目の問題について、自力解決に取り組ませた後、全体で共有する(板書の赤枠)。その後、2つ目の問題(黄枠)を提示し、自力解決後、全体で共有していく。



まず、 $\frac{1}{5}$ を3つ集めた数は何ですか?

$\frac{3}{5}$ です。

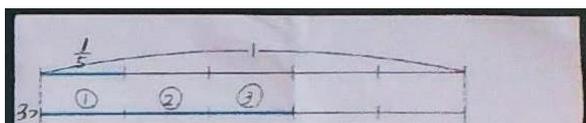
$\frac{3}{5}$ はどんな数と言えますか?

$\frac{1}{5}$ の3つ分と言えます。

$\frac{1}{5}$ とは、どんな数でしたか?

1を5等分したうちの1つ分です。

その3つ分ということですね。線分図を使って説明できますか?



(線分図で示しながら) 1を5等分したうちの1つ分が $\frac{1}{5}$ です。その $\frac{1}{5}$ を3つ集めるので、①、②、③の3つ分になるから $\frac{3}{5}$ です。

1つ目の問題で $\frac{1}{5}$ と $\frac{2}{5}$ を考えたときのことを生かしていますね。

・具体的な量(長さ、かさ)から抽象的な数として分数を捉えることができるように、線分図を用いながら考えさせたり説明させたりしていきます。分数は1を等分したもの(単位分数)が基準になっていることをおさえさせることが大切です。

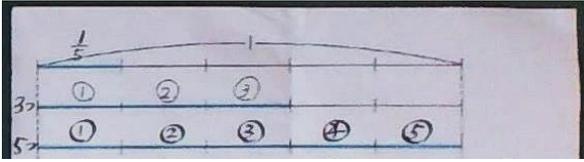
では、 $\frac{1}{5}$ を5つ集めた数は何ですか?

$\frac{1}{5}$ の5つ分なので、 $\frac{5}{5}$ です。

1を5等分したうちの5つ分なので、 $\frac{5}{5}$ です。



$\frac{5}{5}$ も線分図を使って説明できますか？



(線分図で示しながら) 1を5等分したうちの1つ分が $\frac{1}{5}$ です。その $\frac{1}{5}$ を5つ集めるので、①、②、③、④、⑤の5つ分になるから $\frac{5}{5}$ です。



ぱっちり説明できましたね。では、 $\frac{5}{5}$ の線分図に注目です。何か気付くことはありますか？

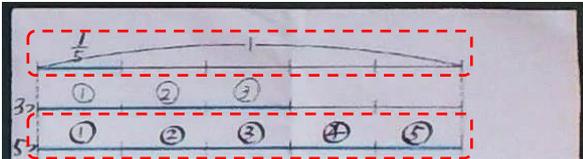
$\frac{5}{5}$ は、 $\frac{1}{5}$ の5つ分で…1になっています。



$\frac{5}{5}$ は、1と同じです。



友達が気付いた「1になっている」「1と同じ」ということは線分図のどこを見て分かりますか？



ここここ(赤枠2つ)を見て、 $\frac{5}{5}$ は1と同じだと分かります。



(児童の言葉を基に板書して) ということは、 $\frac{5}{5}$ と1の間の□には、何が入ると思いますか？

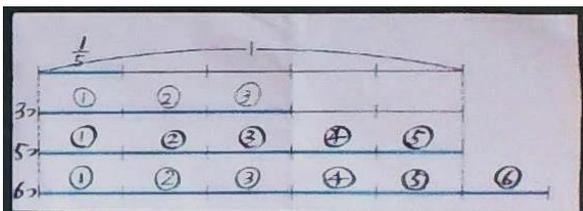


等しい(同じ)という意味の「=」が入ると思います。



線分図から $\frac{5}{5}$ と1が等しい(同じ)ことが分かりましたね。では、 $\frac{1}{5}$ を6つ集めた数について、線分図を使って説明できますか？友達と確認してみましょう。

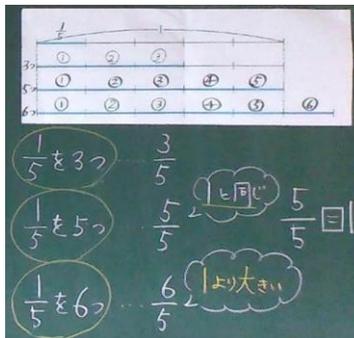
※ペアやグループで確認し合った後、発表させていく。



(線分図で示しながら) 1を5等分したうちの1つ分が $\frac{1}{5}$ です。 $\frac{1}{5}$ を6つ集めるので、①、②、③、④、⑤、⑥の6つ分になるから $\frac{6}{5}$ です。



$\frac{6}{5}$ の線分図を見て、気付くことはありますか？  
(児童の発言を基に右のように板書を加えていく)



$\frac{6}{5}$ は1を超えています。



$\frac{6}{5}$ は1より大きいです。



・線分図を基に、「 $\frac{5}{5}$ は1と等しい」「 $\frac{6}{5}$ は1より大きい」ということについて、児童が気付いたり捉えたりすることができるように発問していきます。